弥富北中学校学校便り　No. 15

至　誠

平成 30 年 1 月 10 日発行

努力の大切さについて～始業式校長講話より～

　新年明けましておめでとうございます。大きな事故もなく、元気な皆さんの顔が見られました。まずは、当たり前に３学期がスタートできることが、何より嬉しいです。

　皆さん、新年を迎え、新鮮な気持ちで前を向いていますか。今日は、努力の大切さについて、アメリカのハーバード大学の図書館の壁に落書きされているという言葉を紹介します。

　ハーバード大学は、古くはヘレン・ケラーやルーズベルト大統領からケネディ大統領・オバマ大統領、またビル・ゲイツやマーク・ザッカーバーグ、ナタリー・ポートマンやトミー・リー・ジョーンズも出ている著名な大学で、特にアメリカでは大学は入学するより卒業するのが難しく、とにかくいっぱい勉強しなければいけない大学です。

１　今居眠りすれば、あなたは夢をみる。今学習すれば、あなたは夢が叶う。
２　あなたが無駄にした今日は、どれだけの人が願っても叶わなかった未来である。
３　物事に取りかかるべき一番早い時は、あなたが「遅かった」と感じた瞬間である。
４　今日やるほうが、明日やるよりも何倍も良い。
５　勉強の苦しみは一瞬のものだが、勉強しなかった苦しみは一生続く。
６　勉強するのに足りないのは時間ではない。努力だ。
７　学習は人生の全てではないが、人生の一部として続くものである。
８　苦しみが避けられないのであれば、むしろそれを楽しめ。
９　怠惰な人が成功する事は決してない、真に成功を収める者は徹底した自己管理と忍耐力を備えた者である。
１０　時間は、一瞬で過ぎていく。
１１　今日歩くのを止めれば、明日からは走るしかない
１２　一番現実的な人は、自分の未来に投資する。
１３　過ぎ去った今日は二度と帰ってこない。
１４　苦しんでこそはじめて進める。

　それぞれ、意味深い言葉です。新年を迎えるにあたり、一つでも皆さんの心に残ればと思います。

　さて、３学期は集大成のときです。特に３年生は旅立ちまであと少しです。４月からは、２年生はいよいよ最高学年・学校の顔になります。１年生は後輩が入っていきます。その準備はできていますか。

　当たり前のことを当たり前に。でも、常により良いものにすることを考える。満足したら進歩はなくなります。感謝と希望に満ちた春が来るよう、大いに努力しましょう。